

# 私たち尾道地区干潟保全活動組織は、 アサリをシンボルにして干潟の保全活動を行っています

アサリは干潟を代表する生き物です。皆さんも潮干狩りなどでなじみがあると思います。  
私たちは、山波の洲のアサリ資源を管理する漁業団体である松永湾水産振興協議会と連携しながら、干潟の保全活動を行っています。漁業活動がなぜ干潟の保全やアサリ資源の維持につながるのか？それには理由があります。

- 1 干潟を耕すことによって干潟の土に程よい酸素を供給し、底質を良好な状況に保つから。
- 2 漁業団体が漁業権を有するため、無秩序な開発から干潟を守ることができるから。
- 3 漁業権によりアサリ資源を管理することで、乱獲を防ぐことができるから。
- 4 アサリ母貝保護などを行うことで、次世代のアサリ資源の増殖が図られているから。

## アサリ資源モニタリング

アサリの資源状況について、定期的に調査しています。



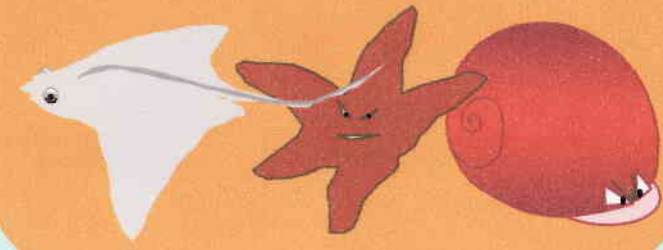
## 母貝保護

次世代のアサリ資源を増やすため産卵母貝を保護し、たくさんの卵を産ませています。



## 外敵駆除

アサリの天敵である、ナルトビエイ、ヒトデ、ツメタガイを駆除しています。



## 漁業者の皆さん

漁場行使期間： 4月1日～9月30日  
漁獲量制限： 手掘りは15kg以内  
                  じょれん30kg以内  
漁具の制限： じょれん目合14mm以上

## 山波の洲管理規則 (アサリ関係抜粋)

アサリ資源を守るため、  
漁業者・遊漁者に対する  
ルールが定められています。

## 遊漁者の皆さん

潮干狩り期間： 4月1日～9月30日  
漁獲量制限： 手掘り 5kg以内  
漁具の制限： 手掘りのみ可能  
※ 潮干狩りには管理協力金を頂きます。